

前向きな生き方を説く田  
辺さん―浜松市中区で



## 「後ろ姿で子に語ろう！」

中日教育 田辺さん、70人に講演

19.10.11.中

幅広く教育問題を考える中日「Education on (エデュケーション)―一座(中日新聞東海本社主催)が十日、始まった。子育てや教育、親の成長を考える全十回の参加型イベントで、初回は浜松市中区の浜松海星幼稚園を会場に、約七十人が前向きな生き方を学んだ。

遠州森町夢街道匠熟長として町おこしにかかわり、元気が出る神社として創設された「貧乏神

社」の三倉分社祭主でもある森町の田辺哲さん(五七)が「後ろ姿でメッセージを送れる親になろう！」をテーマに講演した。

ある大学のアンケートで「思い通りの人生を送ったと考えている六十五歳は3%だけ」だったと紹介した上で、「97%の側の私たちも、3%の側の生き方を子どもに力説してしまつ。どこまでメッセージが届くか」と指摘した。

なりたい状況、欲しい

物、行きたい所など目標を紙に書き、「実現に向けて努力し、その姿を子どもに見せることが大切」などと説いた。

一座は読者対象で、来年八月までの間に、中高

一貫教育講演(今月二十日午後一時、フォルテ)

などを予定。定員制で事前申し込み、参加無料。

問い合わせは、本社広告部053(421)9118へ。